

入ゼミ選考についての回答用紙

担当者名	他学部	PEARL注1	募集人員	A日程 3月12日(火)						B日程 3月25日(月)～3月27日(水)									
				願書提出注3	筆記試験	筆記試験科目・分野および試験申込条件	面接試験	レポート(テーマ・提出期限・提出先等)注4	備考	成績表コピー注5	選考実施日注6	願書提出注3	筆記試験	筆記試験科目・分野および試験申込条件	面接試験	レポート(テーマ・提出期限・提出先等)注4	備考	成績表コピー注5	
赤林英夫	可	可	A)約10名 B)不足がある場合のみ若干名 A) About 10 students B) a few students if there is a shortage	経済学部ゼミナール委員会のフォームで提出 提出期限:2月7日23:59 提出先:yasuko.kuwahara@gmail.com Use the format which is on the HP of Faculty of Economics Seminar Committee. Submit to the student in charge of selection. (yasuko.kuwahara@gmail.com) The deadline is February 6th, 23:59.	無し None		9:30～(レポート課題について尋ねる可能性がある) 9:30 The interview may include the topics written in the report	ゼミナールのHP(facebook)で1/20頃に指定する英語の論文を読んだ上で、日本語による要約とコメントを書き、経済学が教育の問題を解決する上でどのように役立つか自分の考えを述べる。A4で5枚程度。 提出期限:3月6日23:59締切 提出先:hakab@econ.keio.ac.jp 上記のアドレスに[A4・1枚 800字以内]にしてwordファイルを添付 Read the paper announced on Jan 20th on the Facebook page of our seminar. Write the summary of the paper and state your comments to the paper. Then discuss your own thought about the importance and limitations to think about the education policy or education system from economic points of view. You can write the report either in English or in Japanese. Use A4 format. The length of the report should not be more than 6 pages. Submit your file in Word or PDF format directly to the instructor's email address (hakab@econ.keio.ac.jp). The deadline is March 6th, 23:59.	詳細は「慶應義塾大学経済学部赤林英夫ゼミナールFacebookページ」を確認のこと。 See the Akabayashi Seminar Facebook Page for details.	面接時持参 Necessary at the interview	3月26日(火) March 26th	経済学部ゼミナール委員会のフォームで提出 提出期限:3月15日23:59 提出先:yasuko.kuwahara@gmail.com Use the format which is on the HP of Faculty of Economics Seminar Committee. Submit to the student in charge of selection. (yasuko.kuwahara@gmail.com) The deadline is March 15th, 23:59.	無し None		9:30～(レポート課題について尋ねる可能性がある) 9:30 The interview may include the topics written in the report	ゼミナールのHP(facebook)で3/13頃に指定する英語の論文を読んだ上で、日本語による要約とコメントを書き、経済学が教育の問題を解決する上でどのように役立つか自分の考えを述べる。A4で5枚程度。 提出期限:3月24日23:59締切 提出先:hakab@econ.keio.ac.jp 上記のアドレスに[A4・1枚 800字以内]にしてwordファイルを添付 Read the paper announced on March 13th on the Facebook page of our seminar. Write the summary of the paper and state your comments to the paper. Then discuss your own thought about the importance and limitations to think about the education policy or education system from economic points of view. You can write the report either in English or in Japanese. Use A4 format. The length of the report should not be more than 6 pages. Submit your file in Word or PDF format directly to the instructor's email address (hakab@econ.keio.ac.jp). The deadline is March 24th, 23:59.	詳細は「慶應義塾大学経済学部赤林英夫ゼミナールFacebookページ」を確認のこと。 See the Akabayashi Seminar Facebook Page for details.	面接時持参 Necessary at the interview	
秋山 裕	可	可	A)10～15名(欠員が出た場合のみB日程を実施)	2月12日23時59分締切 (akiyamazeminyuzem2018@gmail.comまで、wordもしくはPDFを添付して提出)	9:00～	マクロ経済学、ミクロ経済学、統計学、英語から2科目を選択 申込条件:電卓のみ可	筆記試験終了後	—	—	当日持参	3月26日(火)	3月18日23時59分締切 (akiyamazeminyuzem2018@gmail.comまで、wordもしくはPDFを添付して提出)	9:00～	マクロ経済学、ミクロ経済学、統計学、英語から2科目を選択 申込条件:電卓のみ可	筆記試験終了後	—	—	当日持参	
新井拓児	可	不可	6人前後	なし	10:00	数学(持ち込み不可)	なし	なし	なし										
飯田 恭	可	不可	A)B)合計6名程度	面接時持参	なし		14:00～	テーマ:農村・林野に関する書物を読み、書評せよ。 提出期限:3月10日23:59締切 提出先:tuida@econ.keio.ac.jp 上記のアドレスに[A4・2枚以内]にしてwordファイルを添付		面接時持参	3月26日(火)	面接時持参	なし		14:00～	テーマ:農村・林野に関する書物を読み、書評せよ。 提出期限:3月24日23:59締切 提出先:tuida@econ.keio.ac.jp 上記のアドレスに[A4・2枚以内]にしてwordファイルを添付		面接時持参	
池田 幸弘	可	可	A)10名程度 B)5名程度	3月8日23:59締切 以下のアドレスに送信 iked@econ.keio.ac.jp	—	—	10:00～	—	—	必要ありません	3月26日(火)	3月22日(火)23:59締切	10:00～	経済思想史分野 持ち込みは不可	—	—	提出してください		
石井太	不可	不可	A)B)合計10名程度 (Aで定員に達した場合にはBは行わない)	3月8日(金)23:59締切 以下のアドレスに送信 ishii-futoshi@ipss.go.jp	13:00～ 14:00	初等解析・線形代数・統計学、英文読解 申込条件:辞書可	筆記試験終了後	テーマ:人口学で関心のあるテーマ、研究してみたいテーマについて、A4(1頁40字×30行程度)で4枚以内(まとめて提出せよ)。 提出期限:3月8日(金)23:59 提出先:ishii-futoshi@ipss.go.jp	詳細は以下のウェブサイト参照 http://ishii-futoshi.sakura.ne.jp/Lecture/	面接時持参	3月26日(火)	3月22日(金)23:59締切 以下のアドレスに送信 ishii-futoshi@ipss.go.jp	13:00～ 14:00	初等解析・線形代数・統計学、英文読解 申込条件:辞書可	筆記試験終了後	テーマ:人口学で関心のあるテーマ、研究してみたいテーマについて、A4(1頁40字×30行程度)で4枚以内(まとめて提出せよ)。 提出期限:3月22日(金)23:59 提出先:ishii-futoshi@ipss.go.jp	詳細は以下のウェブサイト参照 http://ishii-futoshi.sakura.ne.jp/Lecture/	面接時持参	
石橋 孝次	不可	不可	A)B)合計16名	2月15日(金)23:59締切以下のアドレスに送信 ishibashi.nyuzem2019@outlook.com	9:00～	ミクロ経済学初級(申込不可)	筆記試験終了後				3月26日(火)	筆記試験時持参	9:00～	ミクロ経済学初級(申込不可)	筆記試験終了後				
井手 英策	可	日本語で参加可能ならば可	A)10名 *A日程の日程が通常と異なるのでご注意ください。	面接時持参	—	—	16時～18時	テーマ: 「幸福の増税論～財政はだれのために」を読み、提言の実現可能性について1200字(40字×30行)以内で自由に論じなさい。 提出期限:2月21日23:59締切 提出先:ask_ide@econ.keio.ac.jp 上記のアドレスにwordファイルを添付。	合格者は、3/4・5の各宿に参加して頂きます。詳細は志望者(メール)でお知らせします。	面接時持参	2019/3/26(火)	nomomoon317@keio.jp に3/18(月)までに提出	なし		10:30～	なし	日程など変更がある場合があります。Twitterで情報を発信しますので、定期的にチェックしてください。	面接時に持参	
伊藤亜聖	No	This seminar is primary for PEARL students	2 or 3 students	Submit application forms by March 1st.	—	—	—	Submit a research proposal by March 1st. The research proposal should be around 3 or 4 pages and contain what you studied in Hiyoshi campus as well as your research plan in the seminar.		Submit grade sheet with application forms.		Submit application forms by March 21st.	—	—	—	Submit a research proposal by March 21st. The research proposal should be around 3 or 4 pages and contain what you studied in Hiyoshi campus as well as your research plan in the seminar.		Submit grade sheet with application forms.	
伊藤 幹夫	不可	不可	A)B)合計15名	3月11日23:59締切	なし	なし	なし	テーマ:望ましい金融市場を市場効率性を論点の中心にして論ぜよ。 提出期限:3月11日23:59締切 提出先:ito.z5@keio.jp 上記のアドレスに[A4・1枚 700字以上800字以内]にしてwordファイルを添付	レポートには参考文献リスト(2項目以上4項目以内をつけること(字数に含めない)、なおHPの引用は認めない)。	不要	3月26日(火)	3月25日23:59締切	なし	なし	なし	テーマ:望ましい金融市場を市場効率性を論点の中心にして論ぜよ。 提出期限:3月25日23:59締切 提出先:ito.z5@keio.jp 上記のアドレスに[A4・1枚 700字以上800字以内]にしてwordファイルを添付	レポートには参考文献リスト(2項目以上4項目以内をつけること(字数に含めない)、なおHPの引用は認めない)。	不要	
井深陽子	可	日本語での参加可能ならば可	A) B) 合計10名程度	2018年2月11日17時必着	10時～12時	ミクロ経済学、統計学、英語(すべて基礎知識を問うもの、申込不可)	筆記試験終了後	なし	なし	面接時持参	3月26日(火)	2018年3月14日(木)必着	10時～12時	ミクロ経済学、統計学、英語から2題を選択(すべて基礎知識を問うもの、申込不可)	筆記試験終了後	提出期限 3月22日(木)17時、メールにてibuka@econ.keio.ac.jp宛に提出。テーマ:自身の関心のある医療制度や社会保険制度に関する学術文献を一つ以上読み、論文の内容を要約した上で、その論文を踏まえてどのような研究テーマが考えられるかについて考えを述べて下さい。文献についても明記すること。分量はA4で2枚程度を目安として下さい。		面接時持参	
植田 浩史	原則不可	可	約20名	2月15日23:59締切 以下のアドレスに送信 naraueda@yahoo.co.jp	—	—	08:30～	テーマ:特定の産業、または企業について取り上げ、事業環境と競争構造の変化、現状と課題について述べよ。 提出期限:2月24日23:59締切 提出先:naraueda@yahoo.co.jp 上記のアドレスに「A4・10枚1万字程度」にしてpdfファイルを添付		提出なし									
大垣 昌夫	可	不可	A)約18名	2月7日23:59締切。以下のアドレスに送信ogakin2019@hotmail.com	—	—	9:00～	第1課題のテーマは「世界観の経済行動への影響: アンケート調査による研究」。第2課題のテーマは「世界観の経済行動への影響のゼミ3年生でのグループ研究に、自分はどういうに貢献できるか」。 提出期限:2月28日23:59。 提出先:ogakin2019@hotmail.com にメール。第1課題は本文2000字以内(その他を表を2つまで、図を1つまで)と、アンケート質問票(pdfかMS-Wordファイル)と、5人以上に聞いた結果のデータをMS-Excelファイルに入力し、回帰分析結果を得たものを添付。第2課題500字以内でpdfかMS-Wordファイルを添付		—	—	—	—	—	—	—	—	—	
大久保 敏弘	可	日本語で参加可能ならば可	A)B)合計16名	3月10日(日)23:59締切 以下のアドレスに送信 yu-sukematsunaga@keio.jp	13:00～	マクロ経済学、ミクロ経済学、統計学	筆記試験終了後	なし		面接時持参	3月26日(火)	3月24日(日)23:59締切 以下のアドレスに送信 yu-sukematsunaga@keio.jp	13:00～	マクロ経済学、ミクロ経済学、統計学	筆記試験終了後	なし		面接時持参	

太田 洋	可	全て可 ただし隔週で、日本語と英語の授業を行うので、日本語能力は少し必要。	A) 一般生9名、PEARL生3名程度の計12名 12 students in total, including 3 PEARL students	3月5日23:59締切 以下のアドレスに送付 ota@econ.keio.ac.jp	10:00~	テーマ:①下記の課題図書から2つの章を選び、そこで行われている議論に対して自分の意見を述べよ。②なぜ本研究会に入りたいのか、入れた場合に何をどのように研究したいかを具体的に記せ。課題図書:倉沢愛子編著『消費するインドネシア』(慶應義塾大学出版会、2003年) 作成・提出方法:2つのテーマを両方とも、A4・10ポイント・1.5スペース・3枚以内で1本のレポートとして書き、下記アドレスにファイルを添付して送ること。 提出先:ota@econ.keio.ac.jp 提出期限:3月3日23:59 Write an essay, including the following 2 themes. (1) Choose any 2 chapters from the following text, and give your opinions over the arguments there. (2) Describe why you want to participate in this seminar, and what you want to do research about if you are accepted. Text: Kurasawa Aiko & William Bradley Horton (eds), Consuming Indonesia: Consumption in Indonesia in the Early 21st Century (Jakarta: Gramedia Pustaka Utama, 2015). Write your essay, including the above-mentioned 2 themes, within 3 pages in A4 file, 10 point, 1.5 space, and send it to ota@econ.keio.ac.jp as an attached file before 23:59 on 3 March.	授業でのディスカッションおよびグループ研究における打合せは、日本語および英語で行う。言語能力を採用基準にはしないが、学生は両方の言語を習得し、コミュニケーション能力を向上させる意図を持つこと。 Both Japanese and English are used in the discussions in the classes and team research. Language skills are NOT a criterion of the selection, but students must learn both languages, and must improve their communication skills.	面接時持参 Submission in the interview	3月26日(火)	3月19日23:59締切 以下のアドレスに送付 ota@econ.keio.ac.jp	10:00~	テーマ:①下記の課題図書から2つの章を選び、そこで行われている議論に対して自分の意見を述べよ。②なぜ本研究会に入りたいのか、入れた場合に何をどのように研究したいかを具体的に記せ。課題図書:倉沢愛子編著『消費するインドネシア』(慶應義塾大学出版会、2003年) 作成・提出方法:2つのテーマを両方とも、A4・10ポイント・1.5スペース・3枚以内で1本のレポートとして書き、下記アドレスにファイルを添付して送ること。 提出先:ota@econ.keio.ac.jp 提出期限:3月24日23:59 Write an essay, including the following 2 themes. (1) Choose any 2 chapters from the following text, and give your opinions over the arguments there. (2) Describe why you want to participate in this seminar, and what you want to do research about if you are accepted. Text: Kurasawa Aiko & William Bradley Horton (eds), Consuming Indonesia: Consumption in Indonesia in the Early 21st Century (Jakarta: Gramedia Pustaka Utama, 2015). Write your essay, including the above-mentioned 2 themes, within 3 pages in A4 file, 10 point, 1.5 space, and send it to ota@econ.keio.ac.jp as an attached file before 23:59 on 24 March.	授業でのディスカッションおよびグループ研究における打合せは、日本語および英語で行う。言語能力を採用基準にはしないが、学生は両方の言語を習得し、コミュニケーション能力を向上させる意図を持つこと。 Both Japanese and English are used in the discussions in the classes and team research. Language skills are NOT a criterion of the selection, but students must learn both languages, and must improve their communication skills.	面接時持参 Submission in the interview	
太田 聡一	可	日本語で参加可能ならば可	A)B)合計15名	2月7日23:59 締切 以下のアドレスに送付 ohtaseminar2019.nyuzemi@gmail.com	10:00~	テーマ:ある労働問題に関する現状と、反対意見と、それに対する打ち手を述べよ。(共通課題一つと、自由課題から一つ)。 提出期限:2月28日23:59締切 提出先:ohtaseminar2019.nyuzemi@gmail.com 上記のアドレスに用意する問題フォーマットをpdfにして添付		—	3月26日(火)	3月15日23:59締切	10:00~	テーマ:ある労働問題に関する論文の作成 提出期限:3月20日23:59締切 提出先:ohtaseminar2019.nyuzemi@gmail.com 上記のアドレスにpdfファイルを添付して提出		—	
大西 広	可	日本語で参加可能ならば可	10名前後	3月10日23:59締め切り以下のアドレスに送付 agaya@keio.jp	10:00~	マルクス経済学を学びたい理由について述べよ。3月10日23:59締め切り以下のアドレスに送付 agaya@keio.jp		面接時2枚持参	3月26日(火)	3月10日23:59締め切り以下のアドレスに送付 agaya@keio.jp	10:00~	マルクス経済学を学びたい理由について述べよ。3月23日23:59締め切り以下のアドレスに送付 agaya@keio.jp		面接時2枚持参	
大沼あゆみ	可	日本語で参加可能ならば可	A)B)合計15名	2月7日までに以下のアドレスに送付 satoshi@satoshi213@outlook.jp	10:00集合 その後開始	テーマは、追ってゼミのホームページに掲載します。 提出期限:2月28日(木)23:59締切 提出先:onomura@econ.keio.ac.jp 上記のアドレスにワードファイルを添付して送ってください。		当日持参	3月26日(火)	3月15日までに以下のアドレスに送付 satoshi@satoshi213@outlook.jp	10時集合 その後開始	追って指示		面接時持参	
大平 哲	可	可能です。日本語を用いて活動しています。	約12名	2月28日23:59までにメールにて送付してください。メールアドレスは別途案内します。	10:00~	詳しくはゼミサイトを参照してください。		面接時に持参してください。						実施する場合、A日程終了直後に、実施要領をゼミサイトに掲示します。	
尾崎 裕之	可	日本語で参加可能ならば可	A)10名程度	筆記試験時持参	10:00~	選択問題(映画に関する問題or計量経済学に関する問題) 詳細はゼミのツイッターを参照のこと。		不要							
嘉治佐保子 Sahoko KAJI	Open to application by students from other faculties	Open to application by PEARL students	Total of about 10 will be admitted, exam dates A and B combined. If enough number of students are admitted in the A exam, there will be no B exam.	Applicants must submit their application forms as PDF to the students in charge, as soon as possible and by 23:59 on Thursday the 14th of February, 2019 at the very latest. 19970830tsuki@keio.jp	9:00~	The written exam (macro and micro economics) is in English, it will start at 9:00 am and last for 60 minutes. Applicants can bring an English-Japanese dictionary. Applicants who meet the requirements for entering PCP take only the oral examination.		Applicants should bring a copy of their transcript to the examination. This will not be returned.	Tuesday the 26th of March, 2019	Applicants must submit their application forms as PDF to the students in charge as soon as possible, by 23:59 on Thursday the 21st of March, 2019 at the very latest. 19970830tsuki@keio.jp	9:00~	The written exam (macro and micro economics) is in English, it will start at 9:00 am and last for 60 minutes. Applicants can bring in an English-Japanese dictionary. Applicants who meet the requirements for entering PCP take only the oral examination.	The oral examination is given by the professor and current students, and takes place after the written examination.	Applicants should bring a copy of their transcript to the examination. This will not be returned.	
片山 翔太	可	可	A)5名程度 B)若干名	3月1日23:59締切 以下のアドレスに送付 sfujimoto@gmail.com	14:00~			面接時持参							
河井 啓希	不可	不可	16名	3月5日23:59締切。以下のアドレスに送付。kawai.nyuzemi@gmail.com	10:00~	ミクロ経済学・統計学		当日持参	3月26日(火)	3月19日23:59締切。以下のアドレスに送付。kawai.nyuzemi@gmail.com	10:00~			当日持参	
河端 瑞貴	可	日本語で参加可能ならば可	A)B)合計約15名	登録日より1週間以内(2/14 23:59まで)にフォームにて提出。(志望者に別途連絡)	9:30~10:30	統計学、ミクロ経済学(電子機器を除きすべて持ち込み可。ウェアブル端末は不可。)	13:15~(筆記試験合格者のみ)	当日持参(12年)(2年秋学期も含む。学籍番号・氏名を記載したkeio.jp印刷物可。複数枚の場合はホッチキス止め。)		募集の有無、詳細についてはA日程終了後にゼミのTwitter(https://twitter.com/kwbt_seminar)でお知らせします。					
川俣 雅弘	可	可	20人	2/6 15:00 登録	10:45~	ミクロ経済学・英語 持込条件:辞書	筆記試験終了後	—	3月26日(火)	3/14 15:00 登録	9:00	ミクロ経済学・英語持込条件:辞書	筆記試験終了後	—	
神田 さやか	可	Conditional (The zemi is conducted in Japanese.)	A)B)合計10名	面接時持参	なし		13:00~	テーマ:自由に設定して論ぜよ。 字数:4000字程度(参考文献は含めない) 提出期限:3月8日23:59 提出先:kanda@keio.jp 上記のアドレスにwordファイルを添付して送付。	面接時持参	3月26日(火)	面接時持参	なし	13:00~	テーマ:自由に設定して論ぜよ。 字数:4000字程度(参考文献は含めない) 提出期限:3月24日23:59 提出先:kanda@keio.jp 上記のアドレスにwordファイルを添付して送付。	面接時持参
木村 福成	可	可(日本語、英語いずれの使用も可としている。)	A)約16名	2月7日以降志望者に送られるメールアドレス宛に3月4日23:59までに提出。	9:00~	小作文。「経済活動のグローバル化に関連する問題を1つ取り上げ、その解決に向けて経済学(あるいは役に立ちうるか)について論ぜよ」という問いに答える形で、当日1時間半の時間内に執筆してもらおう(持ち込み不可)。日本語でも英語でもよい。	13:00~(日本語または英語)	2019年秋から留学予定の学生も歓迎する。新4年生も同じ選考を経ることを条件に受け入れる。							
栗野 盛光	不可	不可	A)B)合計10名程度	3月4日23:59締切	11:00~11:50	ミクロ経済学(指定した問題から出題。問題はホームページ https://sites.google.com/site/mkurino/japanese-site/recruit で指定する)、持込不可	13:00~	なし	面接時持参	3月26日(火)	3月18日23:59締切	なし	13:00~	なし	面接時持参
小林 慶一郎	可	日本語で参加可能ならば可	A)10名 B)若干名	2月28日23:59締切 以下のアドレスに送付 y-kasa@keio.jp	—		13:00~	—	面接時持参	3月26日(火)	3月19日23:59締切 以下のアドレスに送付 y-kasa@keio.jp	13:00~		面接時持参	
駒形 哲哉	可	以下2つの条件を満たす場合のみ可 ①日本語で報告資料を作成し、日本語で議論できること。 ②第4学期から参加できること	A)B)合計10名	2月11日(金)23:59締切 以下のアドレスに送付 marikamiyaka@gmail.com	なし		9:30集合 面接内容:①新聞等から選択した記事の5分間プレゼンテーション・質疑(プレゼン資料は当日持参)②志願票の内容に関する面接 *詳細は入ゼミ担当まで問い合わせてください。	不要	3月26日(火)	3月22日(火)23:59締切 以下のアドレスに送付 marikamiyaka@gmail.com	なし	9:30集合 面接内容:①新聞等から選択した記事の5分間プレゼンテーション・質疑(プレゼン資料は当日持参)②志願票の内容に関する面接 *詳細は入ゼミ担当まで問い合わせてください。	不要		
駒村 康平	可	日本語で参加可能ならば可	15名前後	経ゼミ委員会HP掲載のものを2月10日23:59までに以下のアドレスに送付 kotahirata@keio.jp	9:00~	課題図書に関する筆記試験。持ち込み不可	並行して実施	日本の年金「駒村康平」に関する事前レポート	当日持参	実施しない可能性大					
櫻川 昌哉	可	可	A)B)合計10名	3月1日23:59締め切り 以下のアドレスに送付38460boy@keio.jpレポートと同時に添付	10:00~		10:00~	以下の三つのテーマから、一つ選び、自分の考えを2000字程度で述べよ。提出期限3月1日23:59締切 ・経済的観点を含めて今後の日中間のあり方を論じなさい。 ・好ましい投資先の国と分野について述べなさい。 ・あなたが日銀総裁になったら、どのような政策をするか述べなさい。38460boy@keio.jpに[A4・2000字程度]でwordファイルを添付	面接時持参	3月26日(火)	3月22日23:59締切	10:30~	以下の三つのテーマから、一つ選び、自分の考えを2000字程度で述べよ。提出期限3月22日23:59締切 ・経済的観点を含めて今後の日中間のあり方を論じなさい。 ・好ましい投資先の国と分野について述べなさい。 ・あなたが日銀総裁になったら、どのような政策をするか述べなさい。38460boy@keio.jpに[A4・2000字程度]でwordファイルを添付	面接時持参	
佐藤 祐己	可	可。ただし日本語の文献の輪読と日本語によるディスカッションに問題がない学生に限ります。	A)B)計12~16名。A日程で定員に達しない場合のみB日程を実施。	各自、自由に原書を作成し(フォーマットは自由)、3月5日(火)23:59までに、入ゼミ担当の周芳悦さん(yoshie-shu@keio.jp)にEメールで送付してください。	10:00~	初歩的なミクロ経済学・マクロ経済学。持ち込み不可。	13:30~	なし	不要	3月26日(火)	各自、自由に原書を作成し(フォーマットは自由)、3月19日(火)23:59までに、入ゼミ担当の周芳悦さん(yoshie-shu@keio.jp)にEメールで送付してください。	10:00~	初歩的なミクロ経済学・マクロ経済学。持ち込み不可。	なし	不要
塩澤 修平	可	可	15名程度	提出無し	10:00~	マクロ・ミクロ経済学・英語	11:20~	なし	当日持参						

白井義昌	不可	可	A)12名程度(A日程のみの開催予定)	2月20日23:59締切 kazu_zu_96@yahoo.co.jpに提出	9時～10時30分(約1時間半の試験期間)	マクロ経済学、ミクロ経済学を英語で出題(持込条件:英和辞書、紙媒体のみ可能)	筆記試験終了後、今年は教授面接を行う。(ただし、志願者が多い場合は足切りを行う可能性もあ	過去問はHPにアップロードする予定	不要	今のところ選考の予定無し	yshirai@econ.keio.ac.jp (白井教授)、kazu1496shi@gmail.com (入ゼミ担当:石黒加寿史)								
壽里 竜	可	可	A)B)合計8～10名。それとは別にPEARL生若干名(最大で5名まで)	3月5日23:59締切。susato@keio.jpに送付。	10:00～	A/B生:試験範囲は、神島裕子「正義とは何か」(中公新書、2018年)の第1～第3章まで、持ち込み不可。基本的な概念の理解を問う。PEARL students:The exam coverage is Chaps. 2, 3, 6, and 9 in Michael Sandel, <i>Justice: What's the Right Thing to Do?</i> (Penguin: 2010; Japanese translation is available). MCQ and fill-in-the-blank type questions about the basic concepts and ideas (in English).	筆記試験終了後12:00ごろ～	筆記試験による足切りあり。	不要	3月26日(火)	2018/3/20(水)23:59締切 susato@keio.jpに送付	10:00～	A/B生:試験範囲は、神島裕子「正義とは何か」(中公新書、2018年)の第1～第3章まで、持ち込み不可。基本的な概念の理解を問う。PEARL students:The exam coverage is Chaps. 2, 3, 6, and 9 in Michael Sandel, <i>Justice: What's the Right Thing to Do?</i> (Penguin: 2010; Japanese translation is available). MCQ and fill-in-the-blank type questions about the basic concepts and ideas (in English).	筆記試験終了後12:00ごろ～	筆記試験による足切りあり。A日程で募集人員を満たした場合にはB日程の選考は行わない。	不要			
須田 伸一	不可	不可	A)B)合計10～15名	3月5日23時59分締切 入ゼミ担当にメールで連絡	11:00～	ミクロ経済学、マクロ経済学、指定テキストあり、持ち込み不可	筆記試験終了後	指定テキスト伊藤元重「ミクロ経済学 第3版」1章～10章、福田慎一・照山博司「マクロ経済学・入門 第5版」1章～8章	当日持参	3月26日(火)	3月19日23時59分締切 入ゼミ担当にメールで連絡	11:00	ミクロ経済学、マクロ経済学、指定テキストあり、持ち込み不可	筆記試験終了後	指定テキスト伊藤元重「ミクロ経済学 第3版」1章～10章、福田慎一・照山博司「マクロ経済学・入門 第5版」1章～8章	当日持参			
高草木光一	可	不可	10名程度	3月5日23:59締切 takakusag2019@gmail.com宛に送付	なし		10:00～	人文科学もしくは社会科学系の著作の書評に、今までに読んだ人文科学・社会科学系の著作リストを添付したもの		3月26日(火)	3月19日23:59締切	なし			A日程と同じ				
竹森 俊平	可	可	A)10名前後	面接時持参	10:45～	英語で論文読解、電子辞書持ち込み可				実施なし									
武山 政直	可	可	ゼミの活動日に参加可能なほか、(2019年4月～2021年3月の期間において)ゼミは日本語で行います。	A)B)合計12名程度 2月7日17:00締切 以下のアドレスに送付 takeyama2019@gmail.com			10:00～を予定 詳細はゼミのホームページで告知	ゼミのホームページに課題と提出方法を記載 http://keg-lab.jp/ 提出期限 3月20日24:00締切	面接時持参	3月26日(火)	3月16日24:00締切 以下のアドレスに送付 takeyama2019@gmail.com			10:00～を予定 詳細はゼミのホームページで告知	ゼミのホームページに課題と提出方法を記載 http://keg-lab.jp/ 提出期限 3月1日24:00締切	面接時持参			
田中 辰雄	可	不可	A)B)合計15名	願書は経済学部ゼミナール委員会HPのものを使用 提出方法:レポートと共に提出 提出締め切り日:3月4日(月) 提出場所:詳細はTwitterに掲載	なし		あり(12:00～)	学校掲示板ならびにゼミホームページ及びTwitterに掲載 概要:次のどちらかのテーマでレポート提出 1)簡単な回帰分析(テーマ自由) 2)情報経済関連で何かテーマを決めてレポート。(過去の入ゼミレポートを参照のこと) 提出締め切り日・場所等は願書と同じPDFと印刷したものを両方提出すること。	面接時持参	3月26日(火)	願書は経済学部ゼミナール委員会HPのものを使用 提出方法:レポートと共に提出 提出締め切り日:3/24(日) 提出場所:メール提出と紙提出。詳細はTwitterに掲載	なし		あり(午後・時間未定)	学校掲示板ならびにゼミホームページに掲示 概要:次のどちらかのテーマでレポート提出 1)簡単な回帰分析(テーマ自由) 2)情報経済関連で何かテーマを決めてレポート。(過去の入ゼミレポートを参照のこと) (過去の入ゼミレポートを参照のこと) 提出締め切り日・場所等は願書と同じPDFと印刷したものを両方提出すること。	合格者は夜に歓迎会を行うので予定を空けておいてください。	面接時持参		
玉田 康成	可	可	A)20名	2月28日23:59締切 tamada@econ.keio.ac.jp	9:30～	ミクロ経済学、持込不可	筆記試験終了後	A4紙・1枚、800字以内の研究計画書を3月10日23時59分までに以下のアドレスに送付すること。 tamada@econ.keio.ac.jp											
津曲正俊	可	可(ゼミ活動は日本語で行う)	A)B)合計10名程度(A日程で定員に満たない場合のみB日程を行う)	試験日に持参(筆記試験開始前に提出)、ゼミナール委員会のHPでダウンロードできる願書フォームを使用すること。	9:00～	ミクロ経済学 持ち込み不可	13:00～		面接時持参	3月26日(火)	試験日に持参(筆記試験開始前に提出)、ゼミナール委員会のHPでダウンロードできる願書フォームを使用すること。	9:00～	ミクロ経済学 持ち込み不可	13:00～		面接時持参			
寺井 公子	可	可(普段の活動は日本語で行います。)	A)B)合計16名。A日程進捗の結果、募集人員に至らなかったときに、B日程を実施する。	2月14日23:59締切 以下のアドレスに送付 kterai@econ.keio.ac.jp			9:00～	テーマ「書籍、論文、あるいは新聞記事から、我が国の経済政策・公共政策に関して書かれた論文を一つ取り上げ、それについて議論しなさい」(字数:3000～4000字)○取り上げた論文の出版(タイトル、著者名、発行年月(日)等)を明記すること○提出期限:3月8日23:59締切○提出先:kterai@econ.keio.ac.jp(上記のアドレスにwordファイルを添付して送付のこと)	面接時持参	3月26日(火)	3月17日23:59締切			9:00～	テーマ「書籍、論文、あるいは新聞記事から、我が国の経済政策・公共政策に関して書かれた論文を一つ取り上げ、それについて議論しなさい」(字数:3000～4000字)○取り上げた論文の出版(タイトル、著者名、発行年月(日)等)を明記すること○提出期限:3月8日23:59締切○提出先:kterai@econ.keio.ac.jp(上記のアドレスにwordファイルを添付して送付のこと)	面接時持参			
長倉大輔	可	可		http://user.keio.ac.jp/~nagakura/index.html の「入ゼミについて」を見て下さい。何か質問がある場合は nagakura@7.keio.jp (志望者連絡先) まで知らせて下さい。															
中嶋 亮	可	可(日本語で参加可能なほか)	A)B)合計15名程度	提出期限:3月5日(火)午前0時00分(時間厳守)	なし		10:00～	レポート① 伊東公一郎著『データ分析の力——因果関係に迫る思考法』(光文社新書・2017年)の第一章と第二章を読んで以下の問いに答えなさい。(問1)第一章後半に「新聞やテレビで主張されていることの多くは、相関関係を誤って解釈して因果関係のことと示されているものなのです」という記述がある。このようにメディアが相関と因果を混同して伝えている例を自分で発見し、何故それが相関と因果の取り違えだと思うのかを、本文の記述に則して説明しなさい。(問2)第二章では因果関係の測定における「自己選択(self-selection)」の問題が解説されている。「自己選択を含むグループ分けはビジネスの世界でも政策分析の世界でも多用されている」という記述があるが、自己選択が発生しているため因果関係をうまく計測できていないと思われる分析例を提示し(本文で示されている例ではなく自分で見つけること)、自己選択の問題を解決するためには、どのような解決策が提案できるか具体的に記述しなさい。解答はA4ワープ横書きで、合わせて4～5枚程度で簡潔にまとめよ(手書き不可)。 レポート② 英文新聞記事を読んで用意した質問に答えること。3月1日(金)午前0時00分(時間厳守)までに担当教員にメールし、英文新聞記事と問題および解答用紙を受け取ること。 レポート③ ゼミに入って三田論文または卒業論文でどのような実証経済研究を行ったか。その研究構想をA4ワープ横書きで、3～4枚程度でまとめよ(手書き不可)。3月1日(金)午前0時00分(時間厳守)までに担当教員にメールし、フォーマット(MSワード形式)を受け取ること。 注意:担当教員のメールアドレスは以下に記した。なおレポート①、②、③の提出先も同じメールアドレスとなる。 ryo.nakajima.seminar@gmail.com	筆記試験は実施しない	不要	3月26日(火)	3月19日(火)	なし		10:00～	レポート① 伊東公一郎著『データ分析の力——因果関係に迫る思考法』(光文社新書・2017年)の第一章と第二章を読んで以下の問いに答えなさい。(問1)第一章後半に「新聞やテレビで主張されていることの多くは、相関関係を誤って解釈して因果関係のことと示されているものなのです」という記述がある。このようにメディアが相関と因果を混同して伝えている例を自分で発見し、何故それが相関と因果の取り違えだと思うのかを、本文の記述に則して説明しなさい。(問2)第二章では因果関係の測定における「自己選択(self-selection)」の問題が解説されている。「自己選択を含むグループ分けはビジネスの世界でも政策分析の世界でも多用されている」という記述があるが、自己選択が発生しているため因果関係をうまく計測できていないと思われる分析例を提示し(本文で示されている例ではなく自分で見つけること)、自己選択の問題を解決するためには、どのような解決策が提案できるか具体的に記述しなさい。解答はA4ワープ横書きで、合わせて4～5枚程度で簡潔にまとめよ(手書き不可)。 レポート② 英文新聞記事を読んで用意した質問に答えること。3月15日(金)午前0時00分(時間厳守)までに担当教員にメールし、英文新聞記事と問題および解答用紙を受け取ること。 レポート③ ゼミに入って三田論文または卒業論文でどのような実証経済研究を行ったか。その研究構想をA4ワープ横書きで、3～4枚程度でまとめよ(手書き不可)。3月15日(金)午前0時00分(時間厳守)までに担当教員にメールし、フォーマット(MSワード形式)を受け取ること。 注意:担当教員のメールアドレスは以下に記した。なおレポート①、②、③の提出先も同じメールアドレスとなる。 ryo.nakajima.seminar@gmail.com	Aで募集人数が満たされた場合にはBで募集を行わないこともある	不要	
中妻照雄	可	可	A)15	3月11日23:59締め切り以下のアドレスに送付 keitoando@hotmail.com	なし	なし	一部:9:00～ 一部:13:00～	面接一部課題に関するプレゼン:3月11日23:59締め切り、keitoando@hotmail.com	当日持参										
中西 聡	可	不可	A)B)合計10～12名	2019年2月8日午後5時締切。以下のアドレスに送付(フォーマットは経済学部ゼミナール委員会のHPよりダウンロード)。 stnaka@econ.keio.ac.jp			13:00～	テーマ:本研究会は日本経済の歴史(主に江戸時代～第2次世界大戦まで)をテーマとします。そこで、日本経済の歴史についてのどのような視点から何について研究したいかを、これまでの日本経済の歴史に関する学習状況も含めて日本語で2,000字程度にまとめて下さい。 提出期限:2019年2月18日午後5時締切。 提出先:stnaka@econ.keio.ac.jp 上記のアドレスにWordファイルで添付して送付。	本研究会では、戦前期の日本の文献を読んだり、旧家のフィールドワークを行うことがありますが、日本語能力を重視します。そのため日本語を母国語としない学生は、本研究会への参加は難しいかもしれません。	面接時持参	3月26日(火)	2019年3月20日午後5時締切。以下のアドレスに送付(フォーマットは経済学部ゼミナール委員会のHPよりダウンロード)。 stnaka@econ.keio.ac.jp		13:00～	テーマ:本研究会は日本経済の歴史(主に江戸時代～第2次世界大戦まで)をテーマとします。そこで、日本経済の歴史についてのどのような視点から何について研究したいかを、これまでの日本経済の歴史に関する学習状況も含めて日本語で2,000字程度にまとめて下さい。 提出期限:2019年3月20日午後5時締切。提出先:stnaka@econ.keio.ac.jp 上記のアドレスにWordファイルで添付して送付。	本研究会では、戦前期の日本の文献を読んだり、旧家のフィールドワークを行うことがありますが、日本語能力を重視します。そのため日本語を母国語としない学生は、本研究会への参加は難しいかもしれません。	面接時持参		
中村慎助	可	可	A)B)10～15名	面接時持参	9:00～	ミクロ経済学・持ち込み不可	筆記試験終了後		当日持参										
難波ちづる	可	不可	B)10名程度							3月26日	2018/03/26 11:59分	10時から	過去の補民地支配をめぐる「遺産」について、自由に論ぜよ。(5000字程度。参考文献はすべてきちんと明記すること。)/2018/03/23 11:59分までconamba@3.keio.jpまで送付のこと。		面接時持参				
長谷川 淳一	可	不可	A)B)合計若干名～10名程度	3月5日23:59締切 以下のアドレスに送付 hasegawa@econ.keio.ac.jp なお、当日同様のものを持参	13:00～	高度成長期を中心とした都市政策に関する問題で、内容は「都市計画法の制定に関する考察(1)～(7)」『三田学会雑誌』102巻1号～103号にもとづくもの。論文持ち込み可。	筆記試験終了後		面接時持参	3月26日(火)	3月19日23:59締切 以下のアドレスに送付 hasegawa@econ.keio.ac.jp なお、当日同様のものを持参	13:00～	高度成長期を中心とした都市政策に関する問題で、内容は「都市計画法の制定に関する考察(1)～(7)」『三田学会雑誌』102巻1号～103号にもとづくもの。論文持ち込み可。	筆記試験終了後		筆記試験について、自作でまとめたノート、論文持ち込み可能	面接時持参		
廣瀬 康生	可	不可	A)B)合計5～10名	レポートと一緒に提出			14:00～	テーマ:当研究会に参加するにあたり、どのような準備をしてきた(している)のか述べよ。 提出期限:3月9日23:59締切 提出先:hirose.seminar@gmail.com 上記アドレスまで、願書と一緒にメールでお送り下さい。	レポートの内容によって、面接試験が受けられないことがあります。	3月26日(火)	レポートと一緒に提出					レポートの内容によって、面接試験が受けられないことがあります。	面接時持参		
福原正大	可	可	A)B)合計10名	2月15日23:59締切 提出先:fukuhara.zemi@gmail.com 登録後お送りする願書に記入し上記のメールアドレスにpdfを添付	10:30	グループディスカッション	筆記試験終了後	ケーススタディに関するレポート 提出期限:3月5日23:59締切 提出先:fukuhara.zemi@gmail.com 上記のアドレスに「1000words以内」のレポートをpdfフォーマットにて提出	面接時持参	3月26日(火)	3月22日23:59締切 提出先:fukuhara.zemi@gmail.com 登録後お送りする願書に記入し上記のアドレスにpdfを添付	10:30	グループディスカッション	ケーススタディに関するレポート 提出期限:3月22日23:59締切 提出先:fukuhara.zemi@gmail.com 上記のアドレスに「1000words以内」のレポートをpdfフォーマットにて提出	面接時持参				

藤田康範	可	日本語で参加可能ならば可	A)日程のみで15名程度を募集していますが、応募者数によって合格者数を変化させています。例年の合格者数は30名程度です。	3月9日23:59締切 yfujita@econ.keio.ac.jpに送付して下さい	9:00～	日本経済、経営学、ミクロ経済学から1科目を選択 持ち込み不可 テキストおよび範囲については藤田康範研究会HPをご覧ください	筆記試験終了後 課題については藤田康範研究会HPをご覧ください 3月9日23:59締切 yfujita@econ.keio.ac.jpに送付して下さい		任意です 自分の個性を表す上で必要と思うのであれば面接時に持参して下さい											
藤原一平	可	日本語で参加可能ならば可	A)B)合計20名程度	提出無し			10:00	テーマ「ゼミの志望動機」および「経済に関する小エッセイ」 提出期限:3月6日23:59締切 提出先: fujiwara.nyuuzemi@gmail.com 上記のアドレスにA4でpdf又はwordファイルを添付 上記のアドレスに、それぞれ[A4・1枚 1600字以内]にまとめて、pdf ファイルを添付	面接時持参	3月26日(火)	提出無し							テーマ「ゼミの志望動機」および「経済に関する小エッセイ」 提出期限:3月20日23:59締切 提出先: fujiwara.nyuuzemi@gmail.com 上記のアドレスに、それぞれ[A4・1枚 1600字以内]にまとめて、pdf ファイルを添付	面接時持参	
藤原グレーヴァ香子	不可	日本語で参加可能ならば可	A)B)合計10-12名程度	試験前日の正午までに以下のアドレスに送付。 takakofg@econ.keio.ac.jp	10:30～	ミクロ経済学 持ち込み条件:英和辞典			筆記試験当日に印刷したものを持参	3月26日(火)	試験前日の正午までに以下のアドレスに送付。 takakofg@econ.keio.ac.jp	10:30～	ミクロ経済学 持ち込み条件:英和辞典						筆記試験当日に印刷したものを持参	
穂刈享	可	可	A)B)合計15名程度	3月5日23:59締切 以下のアドレスに送付 hokari@econ.keio.ac.jp	10:30～	ミクロ経済学、数学 持込不可				3月26日(火)	3月23日23:59締切 以下のアドレスに送付 hokari@econ.keio.ac.jp	10:30～	ミクロ経済学、数学 持込不可							
星野崇宏	可	日本語で参加可能ならば可	A)最大20名	提出期限:2月7日15:00 提出先: keiiohoshinoseminar[アットマーク]gmail.com *ESを経ゼミのHPにてダウンロードし、記入したうえで上記のアドレスに添付して送ってください。 *メールは必ずkeio.jpのメールから送ってください。 *メール題名と添付ファイル名は「～コース志望_氏名_ES」としてください。 *解析班志望の方のみ、メール本文に「プログラム経験(解析以外のプログラミングも含む)・使用できる言語(その他アピールできること)を記載してください(教員や企業の担当者などからの書き込みの場合は別紙のPDFで添付可能)。	なし	なし	9:00～	志望コースに応じて下記のようにレポートを作成してください(A4で最大3枚)。 提出期限:3月4日23:59締切 提出先: keiiohoshinoseminar[アットマーク]gmail.com 上記のアドレスにA4でpdf又はwordファイルを添付 *メールは必ずkeio.jpのメールから送ってください。 *メール題名と添付ファイル名は「～コース志望_氏名_レポート」としてください。 【マーケティング・行動経済学】企業や国、自治体等特定の立場から課題を特定し、それを解決する事業や施策を提案してください(社会において全般的な課題を特定してから、立場を選択しても構いません)。独自性と論理性を重視します。 【解析コース】企業や政府等がこれまで行った施策の効果を検証するためには、どのようなデータを取得し、どのような解析を行えば有効であるか、仮想的な例を考えて説明してください。	*倍率によっては一部の学生の面接を11日13:00-18:00に行うことがあります。詳細については研究会twitterやメールで連絡しますのでチェックしておいてください。 *マーケティング・行動経済学コース、解析コースともに各8から10名程度を想定していますが、出願状況によって人数は変動します。 *他学部の学生についても志望コースを選んでください。他学部生は別枠で選考します。 *Pearl生については他のゼミ生とコミュニケーションができる程度の日本語能力があれば受け入れます。その場合2019年秋季学期からの入ゼミも可能です。 *留学予定、あるいは現時点で留学の学生についての扱いは研究会twitterでの告知を確認してください。	面接時持参 (2018年度春学期の記名成績表+Keio.jpから印刷した2018年度秋学期までの成績表)										
松浦寿幸	可	日本語で参加可能ならば可	A)B)合計10名程度	3月8日(金)23:59締切 以下のアドレスに送付 matsura@sanken.keio.ac.jp	なし		14時～	研究会でどのような研究を行いたいかについて、1)研究の背景となる社会問題の説明、2)どのような方法で研究していくのかに触れながら、A4横書きで、3枚程度でまとめよ(手書き不可)。必ず参考文献リストをつけること。3月8日午前23時59分(時間厳守)までに担当教員にメールで提出のこと。	詳細は以下のWEBサイトを参照。 https://sites.google.com/site/matsuraatoshiyuki/ 面接時持参	3月26日(火)	3月23日(金)23:59締切 以下のアドレスに送付 matsura@sanken.keio.ac.jp	なし					研究会でどのような研究を行いたいかについて、1)研究の背景となる社会問題の説明、2)どのような方法で研究していくのかに触れながら、A4横書きで、3枚程度でまとめよ(手書き不可)。必ず参考文献リストをつけること。3月23日午前23時59分(時間厳守)までに担当教員にメールで提出のこと。	詳細は以下のWEBサイトを参照。 https://sites.google.com/site/matsuraatoshiyuki/ 面接時持参		
松沢 裕作	可	不可	A)B)合計8名	提出なし	実施しない		10:30～	下記の書籍を読み、著書の見解を要約し、紹介したうえで、本書に対する受験者自身の評価を4000字以内で述べよ 藤原辰史『給食の歴史』(岩波新書、2018年) 提出期限:3月5日23:59締切 提出先 yusaku@econ.keio.ac.jp 上記アドレスにWordファイルを添付して送付	面接時持参	3月26日(火)	提出なし	実施しない					下記の書籍を読み、著書の見解を要約し、紹介したうえで、本書に対する受験者自身の評価を4000字以内で述べよ 藤原辰史『給食の歴史』(岩波新書、2018年) 提出期限:3月5日23:59締切 提出先 yusaku@econ.keio.ac.jp 上記アドレスにWordファイルを添付して送付	面接時持参		
宮内環	可	不可	10名程度							3月26日(火)	3月23日23:59締切 以下のアドレスに送付 j12976@keio.jp lisakunieda1203@keio.jp								5年後に生まれてきそうなビジネスを考え、提案してください。そのビジネスを始めるにあたって、今から準備できることも踏まえて書きなさい。(A4片面1枚以内、提出期限:3月20日23:59まで)	
山田篤裕	可	日本語で参加可能ならば可	A)約20名	小ゼミ指定の様式で提出してください。 願書提出期間:2019年2月8日(金)～15日(金)正午迄(必着厳守)。 願書提出先:メール添付ファイルとして入ゼミ係(yamada.seminar2019@gmail.com)宛に送信してください。件名には「ゼミ願書(氏名)」を明記してください。貼り付ける写真のファイルサイズ(0.5Mb未満)に注意してください。※到着確認メールが2月5日(火)17時までに届かない場合は、入ゼミ係宛にご連絡ください。	9:15～	持ち込み不可。出題は①山田篤裕他編[2014]『最低生活保障と社会扶助基準(第1章のみ)』明石書店、②駒村康平他[2015]『社会政策(第1章のみ)』有斐閣の内容に基づく記述問題。	10:30～(レポート内容に関する質疑応答)	ゼミで指導を希望する研究内容を説明してください。具体的には①研究の背景となる社会問題の説明、②研究の意義、③過去の研究で明らかになっている点・明らかにされていない点、④どのような方法で研究していくのか、⑤現時点で期待される研究成果、についてA4×5頁以内(1頁:40字×30行)に、各項目について各節毎にまとめてください。6頁以降に参考文献リストを掲げてください。 レポート提出期限:2019年3月1日(金)正午迄に必着。 レポート提出先:必ず【電子媒体・紙媒体の両方】を期限までに提出してください。①紙媒体:〒108-8345 港区三田2-15-45 慶應義塾大学経済学部山田篤裕研究室(必ず【簡易書留】で郵送してください)。②電子媒体:メール添付ファイルとして入ゼミ係(yamada.seminar2019@gmail.com)宛に送信してください。	レポート提出時に(2年春学期までの)コピーを同封してください。また面接当日、(2年秋季学期までの)保証人宛に発送された成績表のコピー(学籍番号・氏名を明記)を持参・提出してください。											
山田 浩之	可	不可	A)約10名 B)A)日程で定員数に満たない場合のみ実施予定	指定されたフォーマットに記入した願書を2月8日午前10時までにメールにてhyamada.nyuuzemi@gmail.comに送付すること。なお手書きの願書は受理しない。	なし		10:00～ 教員面接および学生面接	テーマ:①志望動機(A4で1枚)及び、②今日の国際社会もしくは発展途上国にとって重要と考えられる経済・社会問題の一つ取り上げて自分の考えを論じよ(A4で5枚以内)。英語での作成も可(その場合、①はA4で1枚、②はA4で4枚以内)。参考文献の引用・参照箇所は文中・脚注等で明記した上、必ず参考文献リスト枚数制限に含まれないを作成すること。図表は枚数制限に含まれない。表紙(枚数制限に含まれない)には氏名、学籍番号、及び②に関するタイトルを必ず明記すること。 提出期限:3月1日23:59締切 提出先: hyamada.nyuuzemi@gmail.com 上記アドレスにPDFファイルとして添付し、メールの件名は「入ゼミレポート_氏名」とすること。	面接時に2年秋季学期を含む成績表コピーを持参。	3月26日(火) Tuesday, March 26	面接時持参 Please bring it for your interview	10:30～	マクロ、ミクロ、統計学 Macroeconomics, Microeconomics, Statistics	なし None					面接時持参 Please bring it for your interview	
和田龍磨	可 Yes	可 Yes	A)約15名 B)若干名 a few students	面接時持参 Please bring it for your interview	なし None	なし None	10:30～	なし None	面接時持参 Please bring it for your interview	3月26日(火) Tuesday, March 26	面接時持参 Please bring it for your interview	10:30～	マクロ、ミクロ、統計学 Macroeconomics, Microeconomics, Statistics	なし None				面接時持参 Please bring it for your interview		